

## 夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



### 濱 万里子

実業団でのトレーニング指導からスタートさせてもらったので、スポーツ選手も一般の方も、それぞれのベストを目指し、治療だけでなくトレーニングによって予防や強化をはかっていると考えています。

“楽しむ”こと、“ワクワクする”ことを大切に、「いってらっしゃい！」と選手を送り出し、「おかえりなさい！」の気持ちでしっかりメンテナンス。試合に帯同のときも、選手のモチベーションアップのための工夫を、こっそり行っています。



その一方で、鍼灸師の治療を通して、専門知識も身に着けて、自分でも治療ができたなら、との思いも募ります。さらに、解剖学がわかれば、トレーニング指導の幅もきっと広がる、とも。入社4年目の2011年にNSCA・CPT合格。その翌年、募らせた思いを叶えるため、鍼灸師の資格取得を目指してIGLへの進学を決意します。教員の現場経験や症例をもとにした授業は、治療のイメージがしやすく、いまでも当時のメモを再々見返します。実際に患者さんに関わる臨床実習をしっかりと行ったことで、卒業後すぐ、患者さんを前に治療計画を立てることもできました。

すっかりサポートしてもらいながら、治療家としてのスタートを切ることができました。実業団のとき鍼灸治療をお願いしていたのが田村さん。IGL入学も田村さんの勧めから。感謝し続ける先輩です。たくさんの方との出会いが「夢」を作ってくれて、たくさんのご縁で「現実」に。夢とワクワク感が、濱さんのエネルギーです。



## 12 Solasta治療院 所属 濱 万里子さん

■鍼灸学科 2015年卒業12期生

### “楽しむ”こと、 “ワクワクする”ことを大切に。

たくさんの方との出会いが“夢”を作り、たくさんのご縁で“現実”に。治療だけでなくトレーニングによって予防や強化をはかる。

中学・高校と、ソフトテニス中心の生活。スポーツ推薦で進学した福祉系大学で出会ったトレーナーに憧れ、そのまま将来の夢に。治療のできるトレーナーを目指し、大学卒業後、専門学校での鍼灸師取得を考えますが、ご両親の反対に。ちようどその頃、地元広島の実業団ソフトテニスチームとの合同合宿に参加。帯同のトレーナーに相談したことから、卒業後、高齢者のデイサービスやトレーナー派遣も行う、その会社に就職します。入社後は高齢者へのトレーニング指導や、地域の運動教室を担当。ソフトテニス部トレーナーのアシスタントとして、トレーナーのキャリアもスタートします。

2年目からは、コンディショニング担当のトレーナーとしてソフトテニス部の合宿や大会にも帯同。当時は、認定パーソナルトレーナー資格・NSCA・CPTの勉強中で、資格もなく経験も少ないままの実戦に不安な毎日。自信が持てず、チームに申し訳ないので辞めようと思いましたが、

そんなとき、監督からの「たくさん経験をしろ！失敗しても良いから色々やってみろ！人生に夢があるのではない。夢が人生を作るんだぞ」という言葉。濱さんは、チームへの恩返しと、二度とトレーナーを辞めないことを決意します。

以後、課題は一人で抱えず、治療が必要な選手は鍼灸師に依頼するなど、選手とチームのために工夫を重ねるようになります。